

健全育成のための児童館等活動・製作・観賞・遊びおすすめアイデアポイント  
【ホームページ紹介原稿】

児童館名	杉並区 堀ノ内南児童館	
タイトル	ほりなん剣玉検定	
活動 カテゴリー	活動等	■活動 □行事 □地域連携事業 □製作 □観賞 □その他
	遊び・ ゲーム	□集団 □屋内 □屋外 ■伝承 □木工 □クラフト □表現 □料理 □リサイクル □科学 □IT・パソコン □音楽 □季節 □その他
対象者	□親子 □乳児 □幼児 ■小学 ■中高 □地域 □保護者 □その他	
目的	楽しみながらコツコツと剣玉の技術を磨く	
効果 【児童館ガイドライン】	■発達の増進 □日常生活の支援 □問題の発生予防・早期発見と対応 □子育て家庭への支援 □地域組織活動の育成	
おすすめポイント (参加方法・費用・準備期間等)	①ほりなん流の検定表は「やる気」が出る。②週の前半はひたすら練習。週後半2、3日の中で時間を決めて検定を行う。1種目のチャレンジは3回まで。③検定を受けるときは真剣に、審判と向かい合って挨拶をしてから。④借りたけん玉は返す時にひもを斜めに巻いてから箱にしまう。	
事前準備 道具・材料	①日本けん玉協会の剣玉をたくさん用意する。(一つ1100円位)②大きな検定表を貼り出す。③合格したら、学年別カラーのビニールテープで名前を貼り出す。	
活動内容 行事・イベントの様子 遊び・ゲームの 作り方、遊び 方、進め方、 ルール等	  	<p>剣玉を牛乳パックで作った収納ケースに入れます。持ち運びにも便利。ひもも絡みません。ホールに出したままにはせず、やりたい子が来たら職員も一緒に見守ったり、アドバイスをしたりしています。幼児さんはおでこにぶついたり、床に玉を転がして遊び、ひもが傷むので貸出しません。</p> <p>ほりなん検定は審判の前で成功すれば合格。一つの技は3回まで挑戦できます。1. 大皿→2. 小皿→3. 中皿→4. 手のせ灯台(5秒静止)→5. まわしとめけん→6. 大皿リフティング(5回)→7. 野球→8. もしかめ→9. つばめ返し→10. とめけん→11. 飛行機→12. ふりけん→13. 日本一周→14. 世界一周→15. 灯台(さらなるスペシャル技も別にあります。)</p> <p>一人始めると、次々に剣玉に挑戦する子どもたちが集まってきます。まず、1年生グループの20数人で取り組みました。毎週の活動の中で少しずつ時間をとって練習を続けていくうちに、みるみるまに上達。それを見ていて2年生以上の子どもたちも挑戦し始め、楽しくなってきた子どもたちは、クリスマスプレゼントに頼んだり、お年玉で購入したり…。5、6年生の男子もボール遊びの合間に円になって取り組んでいます。子どもたちの上達は速くてびっくり!!</p>
問い合わせ先	(担当部署) 堀ノ内南児童館	(電話) 03(3316)5090